

[TOP page](#)
[資料室](#)
[イベント情報](#)
[講師を探す](#)
[Worker's 広場](#)
[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [生涯学習](#) | [歴史雑学](#) 12. 明治になると、なぜ平民も苗字をつけるようになったのか?

[労働組合](#)
[労働者福祉・共済](#)
[一般教養](#)
[社会保障](#)
[労使トラブル法律相談Q&A](#)
[労働関係法](#)
[経営全般](#)
[人間関係とコミュニケーション](#)
[ライフプラン](#)
[男女共同参画](#)
[公務員関係法](#)
[日朝の歴史](#)
[7つの習慣](#)
[中東の歴史](#)
[ボランティア活動](#)
[環境活動](#)
[社会貢献活動](#)
[自己啓発](#)
[生涯学習](#)
[外交・防衛問題](#)
[資本論](#)
[教育カリキュラム](#)
[日本国憲法](#)

歴史雑学 12. 明治になると、なぜ平民も苗字をつけるようになったのか？

江戸時代には庶民には苗字がなく、「〇〇屋のだれそれ」「どこのだれそれ」といったように、職業や住んでいる地名を名前の上につけて苗字がわりとしていました。

それが明治8年（1875年）になると、平民にもすべて苗字をつけなくてはならないという法律ができました。国民全員が苗字をつけるということは、身分制度の撤廃という発想から出たのかというと、そうではありません。実は、苗字をつける法律施行に熱心だったのは陸軍省だったのです。国民皆兵の名のもとに、徴兵令が出たのが明治6年です。しかし、徴兵令を出しても、まだ戸籍の整理が不十分で、徴兵がスムーズにいかなかったのです。それはそうでしょう。「〇〇村ごんべえ」「おはるの子ごんすけ」とだけしか書いてない戸籍では役所もやりにくいはず。そこで平民にも苗字をつけさせて、徴兵を手際よくやろうと考えたわけです。

苗字をつけるという法律に対して、国民の反応はあまりよいものではありませんでした。皆、徴兵のことが頭にひっかかったようです。それでも政府は強引にこの法律をすすめ、ぐずぐずといつまでも苗字をつけない家には、勝手につけた苗字を標札にして打ちつけていくようなこともやったそうです。

当時、苗字は親族会議などを開いてつけていたようですが、菩提寺の和尚につけてもらった人も多く、和尚も頭を悩ませ、山の中に住んでいるから「山中」というような、随分と簡単な苗字のつけ方もあったようです。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🗺️ サイトマップ 📄 このサイトについて 🛡️ 個人情報保護の取組みについて

🏠 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.